

櫻

井

桃

華

生

し

目

の

心

の

The little rose  
drowned in lust.

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止



性に目ざめた  
櫻井桃華

The little rose  
drowned in lust.

ごきげんよう♥

プロデューサー  
ちやま♥

あっ

ここでは  
「おはようございます」  
でしたわね

櫻井桃華  
俺が担当している  
アイドルだ

ふふっ♥

くすくす

もうお昼過ぎなのに  
可笑しいですわね♥

予定していた仕事が  
急に延期となり

桃華の希望で  
今から自主的に  
レッスンを  
することになった

山場成  
そして今日は  
トレーナーさんが  
不在らしく

結果的に俺が  
指導することになる...

プロデューサー  
ちやま♥

今日はよろしく  
お願いいたします♥

んんん♥

Lesson Studio

そして貸し出し用の練習着を

桃華に着せたのはいいのだが...

プロデューサーちやま?

どうか なさいまして?

やはり高校生くらいの子が多いうちの事務所のは

まだ中学生の桃華の体には大きすぎたらしい

動くたびに未成熟な桃華の体が露になり

俺の頭の中が いっぱいになる





ま...  
まあね...

桃華は気付いて  
いないのか?

それとも  
自分の性に対して  
自覚がないのか?



さすが  
プロデューサー  
ちやま!

何でもお見通し  
ですのね!

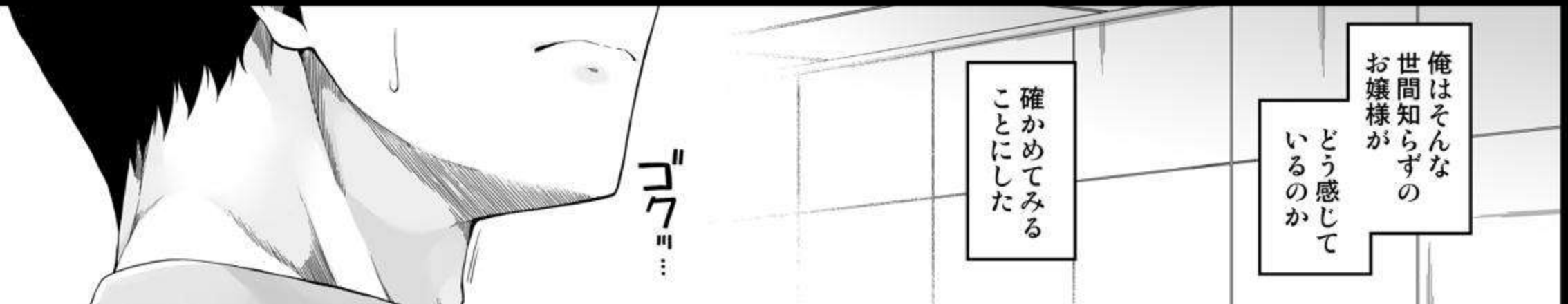
!  
そうですの!



あ...ああ  
そうだな...

ちよっと  
服のサイズが  
合ってなくて

動きづらそう...  
かな?



ゴク...

確かめてみる  
ことにした

俺はそんな  
世間知らずの  
お嬢様が  
どう感じて  
いるのか



俺の  
目の前で

汗で濡れた  
練習着を

脱ぎ始めた



すると桃華は  
コクリと頷き



服...  
脱いじゃおうか

ふう！

動きやすくなり  
ました♡

今まで  
妄想の中で  
しかなかった  
桃華の  
全てが

部屋の照明で  
明るく照らされる

まだ大して  
膨らんで  
いないもの  
男の子の  
それとは  
明らかに違う

ツンと起った  
女の子の胸

くびれのない  
腰まわり

薄くて小さい  
下半身

105r

そしてまだ  
幼さの残る

柔らかな曲線で  
ぶつくりと張り出し

んんん♡

中学生の  
オマンコ

ん

ん♡

深い縦スジを  
作り出しているのが  
見てとれる

んんん



クローズドな  
空間で  
今まさに

裸の桃華と  
二人きり…

当然のように  
俺のレッスンは

エスカレート  
していった



なぜ  
なぜ

よし…それじゃ  
改めて

ストレッチで  
体をほぐして  
いこうな



嘗め回すような  
男の視線を感じ

包皮から  
ひよっこりと  
顔を出す

桃華の幼い  
クリトリス



ゆっくりと  
股を大きく開き

深い縦スジの  
奥に隠された  
小さな膣穴

尿道口

恥ずかしそうに  
キユツと窄まった  
可愛い尻穴

そして

それらが  
改めて

俺の前に  
晒される



俺は  
桃華の体の  
隅々まで

目でじっくりと  
犯していった



?



プロデューサー  
ちやま?

こうで  
よろしくて?

ああ  
いいぞ桃華  
その調子



そうして  
桃華の  
未熟な裸体は  
徐々に  
汗ばんでいき...

んぐんぐん...  
んぐんぐん...  
んぐん...

てらてらと光る  
幼い秘部が  
白く透き通る  
股間に深く  
刻まれた  
縦スジの  
立体感を  
際立たせる

目の前の  
少女の  
今まさに  
目ざめつつある  
性に  
?

俺は本能を  
抑えきれなくなり  
ついには  
柔らかく  
濡れた

小さい  
割れ目へ  
指を  
這わせた

最初こそは

くすぐったそうに  
していたが

次第に  
その反応は

違うものと  
なり

その日  
桃華は  
俺の前で

産まれて初めての  
アクメを迎えた

プン...  
プン...  
プン...  
プン...  
プン...

ビク...

ハハハハハ...

はあ  
はあ

プン...  
プン...



それからは  
社会勉強と  
称して

桃華を俺の部屋で  
預かることにした

あ…  
プロデューサー  
ちゃま…

おかえり  
なさいませ…

も…  
もう少しで

わたくし  
いきますから

ご覧に  
なって…

いつでも  
犯せるように

ここでは裸で  
過ごすよう  
躑けている

今では  
こうして

俺の前でも  
平然と

オナニーを  
するくらいにまで  
成長してくれた

俺が  
桃華の痴態に  
興味を示すと

桃華は  
オナニーの  
指使いや

ケツ穴

クリトリス

瞬間  
アクメする

良く視姦え  
まして…?

それらが  
よく見えるよう  
大きく足を開き

来るべき  
時に備え

オマンコを  
高く突き出した

そして桃華は  
仕上げとばかりに

あ…  
イク…  
いきますわ…

あ…

あ…

目の前に  
迫った  
強烈な  
アクメへと  
至るため

完全に  
トロけた表情を  
浮かべながら  
クリトリスの  
裏側あたりを  
激しくかき回す

そして  
とても  
小学生とは  
思えない

発情した  
獣のような  
声をあげ

一気に絶頂へと  
駆け上がった

桃華の  
甘酸っぱい  
オナニーショーに  
満足した俺は

オナニーの興奮  
冷めやらぬ  
16歳の少女へ

『お前の粗相で  
こうなつて  
しまったんだぞ』

すると  
桃華の  
淫欲に  
染まった  
視線が

桃華は  
まず舌先で  
龟头を  
舐め回し

尿道から  
滲む  
先走りを  
綺麗に  
する

は  
は

今にも果てて  
しまいそうなほど

隆々と勃起した  
大人のチンポを  
見せつける

じわりと  
熱を帯びる

小学生の  
甘い唾液で  
ヌルヌルに  
なった龟头

それを  
確認し

は  
は  
は

は  
は  
は

は  
は  
は

は  
は  
は

改めて  
桃華は  
口全体で  
吸い付く  
ように

チンポに  
奉仕を始める

深く  
喉奥にまで  
挿入し

味わうように

は  
は  
は

は  
は  
は

は  
は  
は

は  
は  
は

は  
は  
は

は  
は  
は

抽送を  
繰り返す



そして  
口に  
チンポを  
啜えたまま

俺の  
眼前に

反転し

中学  
六年生の  
少女の  
尻が

んんん

んんん

差し出される



足を  
開いても

なお

恥ずかしそうに

ピッチリと  
閉じた

いじらしい  
中学生の  
オマンコ

んんん

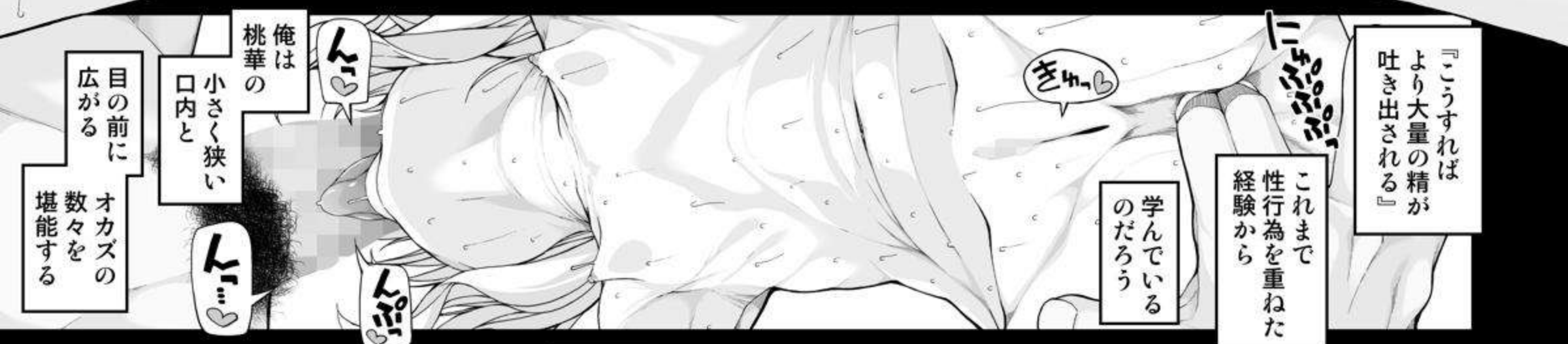
それとは  
反対に

まだ羞恥心の  
芽生えて  
いない

んんん

呼吸のたびに  
緩んでは開く

元氣いっぱい  
小さい尻穴



『こうすれば  
より大量の精が  
吐き出される』

これまで  
性行為を重ねた  
経験から

学んでいる  
のだろう

ぎん

俺は  
桃華の

小さく狭い  
口内と

目の前に  
広がる  
オカズの  
数々を  
堪能する

んんん



はち切れ  
そうになった  
亀頭から

射精の前兆を  
感じ取ると

桃華は  
目の色を変え

そうして  
口内が精液で  
満たされると

んんんんん...

桃華は  
喜びのあまり  
小便を漏らし

小さい体を  
持ち上げても

なお吸いついて  
離さないほどの  
強烈な  
バキュームで  
俺を  
楽しませた

上手に  
奉仕できた  
ご褒美に

縦スジから  
ひよっこりと  
顔を出している

すると桃華は

まるで発情した  
豚のような声を  
出して喜び

んんん

今にも  
弾けそうな  
クリトリスを  
指で摘まみ  
あげてやる

んんん

アクメ  
しながら  
そのまま  
気を失った

んんん

んんん

んんん

根元まで深く  
啜えなおす



今度はランドセルを背負わせながら犯す

桃華が中学校に通う姿を想像しながらのセックスは

実際に背徳的で

何度繰り返しても

飽きることはない

オー...

オー...

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ



まるで桃華と寄り道して

中学校の帰りにセックスで遊んでいるような感覚

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

性の快楽で白濁に塗り潰されアクメの期待に瞳を輝かせる

そんな幼い姿を見るたびに



射精しても射精しても

尽きることなく

チンポが勃起し

そして

その脈動を

膣内から感じ取るや否や

んっ

んっ

んっ

桃華は淫らに体をくねらせ

性の悦びを謳歌する



そうして  
桃華の穴を  
使って

満足した後

まるで  
生ハメの余韻で  
ヒクつく姿を  
隠すように

びちりと閉じた  
ロリスジを

指で  
押し拡げる

なす術もなく  
口を開ける  
小さい膣穴と

大きく  
露出し  
膨らんだ

可愛らしい  
クリトリスを  
眺め

この女の子を  
今完全に  
支配している

その征服感に  
満足した後



意識は  
すでに

アクメの海へと  
沈み

もはや  
品の欠片も  
感じられない  
快楽に蕩けた  
表情の桃華

この  
14歳の  
少女を

更なる快楽へ  
導くため

より深く  
ゆっくりと  
ねじ込むように

子宮の奥を  
突き上げる



その日は  
一日中

桃華を犯して  
遊んだ

俺は  
何度も何度も  
尽きることなく

桃華の肉穴に  
射精し

桃華は

それに  
答えるかの  
ように

か細い肢体を  
がくがくと  
悦びに震わせ

小便を派手に  
撒き散らした

共同生活を  
続けていくうち

桃華は昔のような  
大人びた姿を  
俺に見せることは  
なくなり

一緒に  
よく遊ぶように  
なった

はー♡

プロデューサー  
ちやまあ♡

はー♡

プロデューサー  
ちやまあ♡

はー♡

はー♡

俺の視線を  
オカズにした

可憐な少女の  
密着公開  
オナニー遊び

桃華は俺が  
喜んでいる  
様子を見ながら

嬉しそうに  
オマンコを  
弄くりまわす

はー♡

そんな  
微笑ましい  
性の遊戯を  
眺めて  
いるうち

はー♡

はー♡

俺の  
チンポは

先走りを  
伴った

桃華の  
雌穴を求め  
大きく  
隆起する

はー♡

はー♡

垂直に  
そそり立った  
チンポで

はー♡

ゆっくりと  
味わうように

小さい肉穴を  
押し拡げる

膣奥へと  
突き当たると

水気を含んだ  
肉音とともに

キュツと  
可愛らしく  
膣内が締まる

そのたびに  
桃華は  
悦びに身を  
震わせ

はー♡

はー♡

はー♡

小便を  
撒き散らす

奉仕することの  
悦び：

育ちの良い  
お嬢様として

今までの  
尽くされる  
立場から一転し

犯され

使われ

そんな扱いを  
受け続けるうち

イク♡

おどろ...

は...

は...

は...

イク♡

ビッ  
ビッ

イクイクイク♡

小さな体に  
備わった  
マゾ性癖が  
開花した

果ててなお  
小刻みに

痙攣を  
繰り返す

桃華の  
幼い膣穴は

貪欲な  
までに

精液を  
吸い上げ

12歳の  
小さな胎を

満たしていく

ズグググ...

ぬぐ...

ちゅちゅ...

イク♡

イク♡

イク♡

イクイクイクイク...

ビクビクビク...

ビク

ビク

ビク

わく

わく

わく





少女の本能に  
答えるように

俺は自らの  
獣欲の  
赴くまま

白く薄い肌を

膣内から  
容赦なく

何度も  
突き上げる



初めて  
出会ったときの

はにかむような  
あどけない笑顔

そして  
今の

おー...

イク...

イク...

オ...

イク...

ぐに

ぐに

ぐに

ドク...  
ドク...

胎の中のチンポに  
意識を集中し

快楽に  
酔いしれる  
雌の顔

その全てが  
愛おしく

俺は  
最後の一滴まで

びゅん  
びゅん

またま

精液の抽送を  
止めることは  
なかった

イク...

イク...

そして  
ようやく

桃華の膣内へ

びびり

ゴホ

全てを  
射だ精しきると

桃華は意識を  
失いつつも

小学生の  
狭い膣から  
引き抜いた

俺のチンポへ  
舌を這わせた

ふー

ふー

しゅ

しゅ

すでに  
体が覚えて  
いる  
性への奉仕を

雌の本能による  
飽くなき快楽を

完全に  
意識を失う  
その瞬間まで

繰り返した

そうして  
桃華の穴で  
遊び終わったら

風呂場で  
綺麗に洗う

まだ  
小さい膣口に  
指を突っ込み  
腔壁を  
なぞるように  
大きくかき回す

桃華は  
それを

ぼーっとした  
様子で眺め

粘っこい涎を  
垂らしながら  
快楽を貪るのに  
夢中に  
なっている

お？  
またおしっこか？

おしっこ  
出す時は  
俺に言うよう  
教えたたる  
桃華

ぶっ…♡

ぶっ…♡

ブルッ

にゅん

にゅん

よいしょっと

んま…♡

あー…♡

ちよろろろろ

ぽ

が

たぽ

たぽ

たぽ

ビクッ

ビクッ

ぶっ…♡

ぶっ♡

あくまた  
イってる…♡

ぶんっ♡

ずっと指で  
ホジホジ  
してたから

ぎゅうぎゅうに  
押し扱げられる  
オマンコ  
の感覚

恋しく  
なっちゃった  
かな

こうして  
俺と桃華の  
性生活は

これからも  
続いていくー

おしっこしてる  
桃華視姦てたら

また勃って  
きちゃった  
じゃないか

ほら桃華

欲しいの  
あげるよ

オマンコ穴  
拡げて♡

びゅんっ♡

びゅんっ♡

性に目ざめた  
櫻井桃華

The little rose  
drowned in lust.

## あとがき

白田太です。

今回は桃華の本になりました。  
桃華は髪型もキャラも初期と今とでは  
だいぶ違う部類の子なので似せるのが難しかったです。  
一応ゲーム内で見られる髪型やコスチュームを  
それとなく楽しめるプレイ内容にしてみました。  
お楽しみ頂けたなら嬉しいです。

それと、一部のサマーマドモアゼル好きの紳士の皆様  
すみません。自然な感じで入れられそうになかったので  
カットになってしまいました。  
描きたかったんですけどね……………。

それではまた次の本でお会いしましょう。  
ではでは。

**…あと twitterのアカウントが凍りました！  
今これ読んでて前のアカウントを  
フォローしてたよって人はフォローしてね！**

誌名：性に目ざめた櫻井桃華  
発行日：2020/11/23

著者：白田太  
homepage:<http://wwheel.blog53.fc2.com/>  
mail:[sirodai@hkg.odn.ne.jp](mailto:sirodai@hkg.odn.ne.jp)  
twitter:shirotdai (凍結中)  
wwshirota

印刷：ねこのしっぽ様

※18歳未満の方の購入及び閲覧、無断転載  
アップロード等を禁じます。



